

KODOMO PASOCON NEWS こどもパソコン新聞

【発行】
（株）情報学習新聞社
東京都港区新橋6-14-5
オーイズミ新橋ビル6F
TEL 03-3459-6190
http://www.joho-gakushu.com
Eメール info@joho-gakushu.com



▲この日は海のコースの生徒さんが携帯電話を利用してテレビ会議

教室にインターネット接続のできるコンピュータやプロジェクトを置いて「未来の教室」を先取りしているような学校があります。横浜市立大口台小学校をたずね、六年生の担任でもある佐藤幸江先生にお話をうかがいました。



横浜市立大口台小学校 佐藤 幸江先生

「総合的な学習の時間」は子どもたちに問題を解決する力をつけることを目的としています。大口台小学校の六年生は、七月一日二日の体験学習を「自分たちの手で創り上げる」活動を行っています。

横浜市立 大口台小学校

みんなの学校ではどんなパソコン学習をしているのかな？
神奈川県横浜市立大口台小学校と、大阪府のプール学院中学校・高等学校、名古屋市の名古屋高等学校にうかがいました。

のぞいてみよう！みんなの学校、パソコン学習を紹介！

学校取材特集
〈1面・2面・3面〉

その年の六年生によって活動が違ってくることになりました。今年、子どもたちが社会科で学習した登呂遺跡に行ってみようというところで、全員で見学することになりました。

これまでの修学旅行は、先生が計画を立て、子どもたちがついて回る観光旅行のようでした。わたしたちの学校では、三年前に見直しを行いました。

大切な子どもたちの自主性
「総合的な学習の時間」は子どもたちに問題を解決する力をつけることを目的としています。



▶「文字のサイズはあとから変えればいいのよ」。やさしく生徒さんにアドバイスをする佐藤先生

見学に行く水族館の方と携帯電話を使ってテレビ会議を行ったり、交流コースでは静岡県の学校のみなさんと電子掲示板を通じて自己紹介を行いました。

工夫をこらした発表
体験学習の前に自分たちが行く場所や、どんな活動をしていくのかを、調べてまとめ、保護者の方々の前で発表をします。

子どもが発達に応じた教育
低学年では、国語や生活科の授業の中で情報教育を行っています。「私は、昨年一年生の担任をしていましたが、二年生でも立派な情報教育ができる」と思いました。

技能の差とこれから
「技能の差はありますが、生徒同士で教えあっています。今や、就職する時もパソコンで情報を集めたりしていますから、「これからコンピュータは、とても役に立つ道具になる」と言っています」

保護者の方へ
「以前、目からウロコが落ちるような言葉と出会いました。それは、情報教育とは「情」を伝える教育なんだよ、という言葉です。高度情報化社会になり、これからそこから逃げることはできません。私は、子どもたちが自分で思っていることを表現できる表現力と、コミュニケーション能力をつけてあげたいと思っています。何かひとつ自信を持って表現できるものを身につけることは、今の子どもたちにとっても必要なことだと考えています。コンピュータもその道具のひとつです。有害な情報もあふれている世の中で、学校だけでなく、家庭の役割は重要です」

FUJITSU
ミルトルノコス

FMVでホーム・エンターテインメント。
FMV
DESKPOWER
www.fmworld.net